

令和4年度 学校自己評価システムシート（県立皆野高等学校）

目指す学校像	校訓（誠実・勤勉・協力・奉仕）の理念の下、地域の活性化に寄与し、地域社会と産業を支える人材を育成する学校
--------	--

重点目標	1 主体的・対話的で深い学びを推進し、確かな学力を育成する。 2 地域の人材と資源を活用し、地域と連携した特色ある学びを推進する。 3 思いやりの気持ちの醸成やあいさつの励行を通し、健全な心身を育成する。 4 生徒の特性に応じた進路指導を推進し、地域で活躍する人材を輩出する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学校自己評価					年度評価（月日現在）		
年度目標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標			
1	<p>少人数の学習環境を生かし、全教員が生徒一人一人の能力や特性に応じた丁寧で面倒見の良い学習指導を実践している。また幅広い検定を効果的に活用し、生徒に具体的な目的意識を持たせ、達成感や成就感を高めている。</p> <p>課題基礎学力や学習習慣の定着と学力向上のため、生徒の学習意欲を高める授業の工夫が必要である。また効果的な指導法や観点別評価の導入による多面的な評価の工夫を図るため、教員の授業力向上が重要である。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びによる参加型の授業による学習指導や検定を有効に活用した指導を推進し、生徒の学ぶ意識や意欲・目標を高める中で、基礎学力の定着を図り学力を向上させる。</p>	<p>①授業研究週間を設定し教員相互の授業見学と研究協議実施（2回）</p> <p>②検定試験に係る指導を計画的に推進し、学力を向上させる（通年）</p> <p>③スタディサポート（1年7限）や反復的な補習等により、学習に係る個別の課題を改善する（通年）</p> <p>④評価に係る共通認識を持つ（通年）</p> <p>⑤生徒による授業に係る自己評価の結果を活用した授業改善（通年）</p> <p>⑥AL や ICT 機器を活用し、生徒の主体的に学ぶ姿勢を定着（通年）</p> <p>⑦高校通級の取組を通して、基礎的なソーシャルスキルを身に付けさせ、自立を促す（通年）</p>	<p>①授業研究週間を設定し、授業見学と研究協議を2回実施したか。</p> <p>②検定試験指導を計画的に実施し、目標の合格者数を達成できたか。</p> <p>③スタディサポート（1年7限）及び補習等を計画的に実施し、成績不振者の割合を減少させたか。</p> <p>④生徒の実情を踏まえ、各教科共通認識のもと指導に臨めたか。</p> <p>⑤生徒アンケートを実施し、評価結果を分析し参考としたか。</p> <p>⑥生徒が自主的に授業に取り組むことができたか。</p> <p>⑦教育支援プランに沿って計画的に指導できたか。</p>			
2	<p>HPや各種学校広報紙を活用して、本校の特色ある教育活動や生徒たちの活躍に関する情報を積極的に発信している。また地域の行事やボランティア活動に積極的に参加し貢献する取組を通して、本校の評価を高めている。</p> <p>課題新規コミュニティ・スクールとして、これまで以上に広く地域の方々の意見を取り入れ、地域と共に歩む学校として、協働して子供たちの活躍の場を創出し、地域社会と産業を支える人材育成を推進する必要がある。</p>	<p>商業高校の特色を生かした地域貢献活動を推進し、日々の教育活動を積極的・継続的に情報発信する。</p> <p>コミュニティ・スクールとして、適切に学校運営協議会を運営する。</p>	<p>①学校説明会等の計画的実施（6回）</p> <p>②皆野町（秩父地域）や地域おこし協力隊との連携（5回）</p> <p>③早稲田大学との連携（通年）</p> <p>④地元小中学校との連携（5回）</p> <p>⑤秩父4高校連携事業実施（2回）</p> <p>⑥秩父定住自立圏との連携（通年）</p> <p>⑦教育活動や行事についてHPと広報紙を活用し積極的に情報発信</p> <p>⑧学校運営協議会の実施（2回）</p>	<p>①学校説明会を6回実施したか。</p> <p>②皆野町等の行事に参加し、活動に5回以上協力できたか。</p> <p>③早稲田大学と連携できたか。</p> <p>④小中と5回以上連携できたか。</p> <p>⑤4校合同事業を2回実施したか。</p> <p>⑥秩父定住自立圏と連携できたか。</p> <p>⑦HP積極更新及び広報紙の町内回覧等により、情報発信できたか。</p> <p>⑧運営協議会を2回実施したか。</p>			
3	<p>毎朝の立哨指導による健全な学校生活を確立する指導の徹底や継続的な基本的生活習慣に係る指導により、安心・安全で落ち着いた学びの環境が整っている。計画的な防災教育で生徒の防災意識は高まっている。</p> <p>課題基本的生活習慣の確立による、欠席や遅刻の減少。模範となる交通安全教育の取組推進。またコミュニケーション能力向上と、人権意識の高揚が重要。</p>	<p>適切な生活習慣と、規範意識に基づく豊かな人間性や、人権意識を育成する中で、健全な心身の維持を図る。</p> <p>防災に係る安全教育を計画的に実施し、防災・減災意識を高める。</p>	<p>①学校生活アンケートを実施（2回）</p> <p>②遅刻指導の実施（通年）</p> <p>③生徒による挨拶運動実施（通年）</p> <p>④SC・SSW等外部機関と連携した教育相談等（通年）</p> <p>⑤自転車利用に係る講習会（1回）</p> <p>⑥人権学習の実施（1回2・3年）</p> <p>⑦火災・地震・土砂災害などの様々な場面を想定した総合防災訓練等安全教育の実施（3回）</p>	<p>①結果をまとめ分析したか。</p> <p>②遅刻延べ回数が減少したか。</p> <p>③挨拶運動週2回実施したか。</p> <p>④各専門家を活用し、アドバイスを生徒指導の参考にしたか。</p> <p>⑤自転車利用講習会を実施したか。</p> <p>⑥人権学習を実施したか。</p> <p>⑦消防署員の指導の元、火災・地震・土砂災害等の訓練において、的確に判断・行動できたか。</p>			
4	<p>3年間を通じた計画的な進路指導と、生徒一人一人の能力や特性に応じた指導の継続により、毎年希望進路を確定させている。</p> <p>課題少人数の環境を生かし、生徒一人一人の目標の実現をサポートすることが重要。系統的な指導を進めて、生徒に将来の生活を考えさせる中で、望ましい職業観と確かな適応力を身に着けさせることで、地域で活躍する人材を育成する。</p>	<p>生徒一人一人の能力や特性に応じた進路指導と地域企業の特色について学ぶ機会を有効活用することで生徒の進路意識を高め、3年生の希望進路決定率を100%とする。</p>	<p>①系統的進路ガイダンス実施（2回）</p> <p>②インターンシップの実施（1回）</p> <p>③進路決定に向けた面接練習と就職後の働き方指導の実施（通年）</p> <p>④P後による面接指導（8月）</p> <p>⑤雇対協等と連携した企業説明会への参加（1回）</p> <p>⑥「進路の手引」改善と活用（通年）</p>	<p>①学年別に進路ガイダンスを2回以上実施できたか。</p> <p>②地元事業所と連携しインターンシップを実施したか。</p> <p>③3年生全員が就職支援員等と面接や指導を実施したか。</p> <p>④P後面接指導を実施したか。</p> <p>⑤地域の企業説明会に参加したか。</p> <p>⑥手引きの内容を更新したか、またHR等で活用したか。</p>			

学校関係者評価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	